

令和5年第421回信濃町議会定例会6月会議再開あいさつ

令和5年6月2日

信濃町副町長 小林 義之
議会議事堂にて

本日ここに、第421回信濃町議会定例会6月会議の再開、並びに本会議にご提案を申し上げます各案件の審議に先立ち、一言ごあいさつを申し上げます。議員の皆さま方におかれましては、公私ともお忙しい中、ご出席を賜り先月18日に行われました5月会議から引き続きでの開催となりましたことについて併せて御礼申し上げます。

始めに、新型コロナウイルス感染症につきましては、5月8日に5類感染症に位置づけられ1ヶ月が経過しようとしています。当町においても重症化リスクの高い65歳以上の高齢者、基礎疾患のある方、医療従事者等への第6回目の接種を開始したところであります。全国の感染者状況の公表が週1回医療機関での定点把握に基づくものになりましたが、県内の感染者は4月以降増加傾向が続いており、手洗いや換気、必要に応じたマスクの着用など、基本的な対策を引き続きお願いいたします。

続いて、5月19日から21日にG7広島サミットが開催されました。7カ国の首脳が世界で唯一の戦争による被爆地広島に集まるという歴史に残るサミットとなりました。そのような中で、ロシアによるウクライナ侵攻から1年3ヶ月が過ぎましたが、核兵器使用リスクへの懸念の高まりとともに、人類存続の危機に陥りかねないという不安が広まる中、G7各国が世界平和と持続的な発展の場所として広島から力強い平和メッセージを世界中に発信し、核兵器のない平和な世界の実現に向けた気運の高まる機会になったものと思います。

関連して、日本経済の先行きについては、経済社会活動の正常化が進む中で、各種業種において有効求人倍率が緩やかに上昇する等経済政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されています。一方でウクライナ情勢の長期化などが懸念される中で、供給面での制約や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要があります。このことから当面、物価の上昇は避けられず町財政にも悪影響を及ぼすことから、国県の

動きに連動した施策の展開と財政運営に努めてまいりたいと思います。

また、信濃小中学校では5月22日に信濃オリンピックと銘打った運動会が行われました。紅白に分かれるのではなく、1年生から9年生までの縦割りチームにより低学年も一緒に参加できる競技を7年生が創意工夫して作り上げ子ども達の元気な声がグラウンドいっぱいに響き渡っていました。

そして、5月25日に近隣の中野市において、猟銃で撃たれるなどして4人が殺害された立て籠もり事件が発生しました。近年まれにみる痛ましい事件でご遺族の方には、謹んで哀悼の意を表します。当町においても、犯罪被害者支援条例の検討を始めており、被害者や遺族への見舞金の支給等犯罪被害による経済的又は、精神的な負担軽減に努めて参りたいと思います。

本議会にご提出いたします議案は、条例関係1件、令和5年度補正予算6件、報告案件として2件を予定してございます。ご審議のうえ、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

議員各位におかれましては、一層、町政の運営にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、再開にあたってのあいさつといたします。